

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

6月のアルミ概況および7月の見通し (2)

予想レンジ

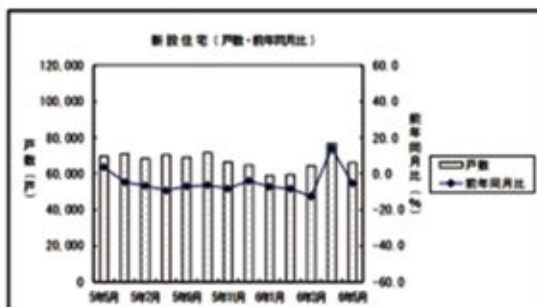
LME現物後場買い 2,400~2,600ドル

スクラップ -5円~-10円 (前月最終価格より)

為替 160円~165円 円安

(1か月間TTM)

新設住宅 (戸数・前年同月比)



出典 国土交通省統計

貿易指標

【輸出】

新地金は-6.6%の225 t。

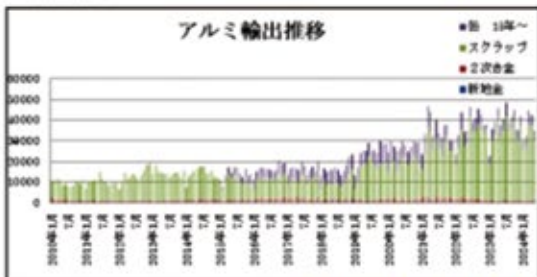
二次合金は+73.7%の761 t。

スクラップは-14%の2万8,768 t。

アルミ缶は-5.7%の5,296 t。

輸出	3月	4月	5月
新地金	325 t	314 t	225 t
前年比	+21.7%	-20.8%	-6.6%
二次合金	776 t	986 t	761 t
前年比	-38.3%	+62.4%	+73.7%
スクラップ	3万6832 t	3万5949 t	2万8768 t
前年比	+15.1%	-9.4%	-14%
缶	6830 t	5127 t	5296 t
前年比	-9.3%	-6.2%	-5.7%

輸出推移



出典 財務省貿易統計

【輸入】

新地金は+5.8%の10万1,579 t。

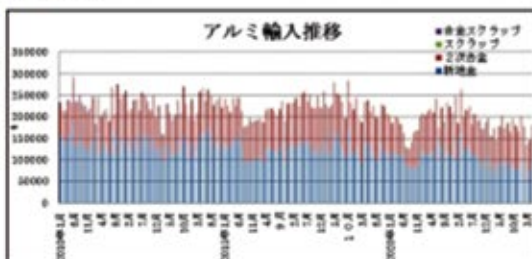
二次合金は-7.7%の7万8,961 t。

スクラップは+6.9%の1,033 t。

合金スクラップは-30%の6,658 t。

輸入	3月	4月	5月
新地金	5万4569 t	7万6915 t	10万1579 t
前年比	-39.4%	+19.4%	+5.8%
二次合金	8万1299 t	6万8521 t	7万8961 t
前年比	+3.2%	-13.7%	-7.7%
スクラップ	417 t	714 t	1033 t
前年比	-30%	-24.5%	+6.9%
合金スクラップ	6858 t	6583 t	6658 t
前年比	-20.7%	-8.4%	-30%

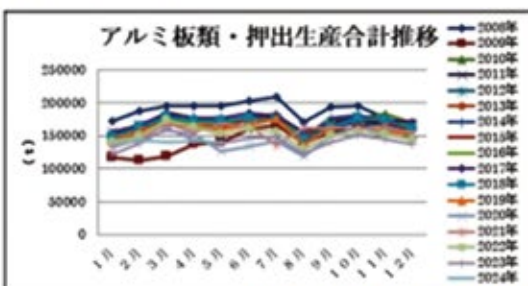
輸入推移



出典 財務省貿易統計

【アルミ圧延・押出生産数】

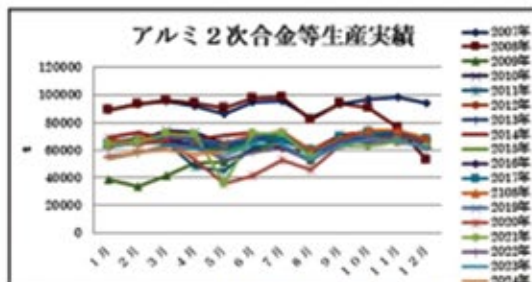
日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+1.2%、14万329 t、3か月ぶりプラス。



出典 日本アルミニウム協会

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比は+5.8%の5万8,633 tで3か月ぶりプラス。出荷は+8.2%の6万235 tで5か月ぶりプラス。



出典 日本アルミニウム合金協会

(次頁へつづく)

■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産動態統計によると5月の自動車生産台数は前年比+4.4%の61万6,678台。輸出は前年同月比-0.3%の27万9,655台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると6月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-7%の24万1,561台。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+1.2%の14万329tで3か月ぶりプラス。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比は+5.8%の5万8633tで3か月ぶりプラス。出荷は+8.2%の6万235tで5か月ぶりプラス。

【見通し】

【自動車】

5月の自動車生産が+4.4%。6月国内販売台数が前年比-7%。販売が5か月連続減少、ダイハツ、トヨタ問題による販売低迷ではあるが生産が5か月ぶりに回復した。来月以降さらに回復との予想。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+1.2%の14万329tで3か月ぶりプラス。住宅着工の増加により来月に更に期待。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

ダイハツ、トヨタ問題による低迷から数か月ぶりに回復。来月以降さらに回復との予想。

【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は前月から一転LME価格が2677から2465.5ドル台と下落傾向だった。中国への輸出低迷から在庫増。

需要面に関して、前月から更にダイハツ、トヨタ問題や需給がでてるものの中後への輸出低迷で需要は飽和状態。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

①米FRBの金融政策

米6月の非製造業(サービス業)景況感指数が48.8と5月(53.8)から低下し、ダウ・ジョーンズ通信がまとめた市場予想(52.8)を下回った。2か月ぶりに好不況の境目である50も割り込んだ。

また6月のADP全米雇用リポートでは、非農業部門の雇用者数が前月比で15万人増と、市場予想(16万人増)を下回ったことから潮目が変わるかも。(利下げ方向へ)

②日銀の金融政策

財務省の神田真人財務官は行き過ぎた動きには必要な対応を取っていく」と投機的な動きをけん制したものの現在162円付近と防衛ラインとされる160円をあっさり割り込んだ。次の防衛ライン165円までは一旦落ちる可能性あり。160-165円でのレンジ内に動きになるのではないかと。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は2,400-2,600ドル(セツル)との予想。

ドル円値は160円~165円(TTM)台を予測。

スクラップ購入価格に関しては-5円から-10円程度と予想している。

(「6月のアルミ概況および7月の見通し」おわり)

日刊金属LINE公式アカウントでは建値情報などを随時お知らせします。右のQRコードをスキャンしてください。

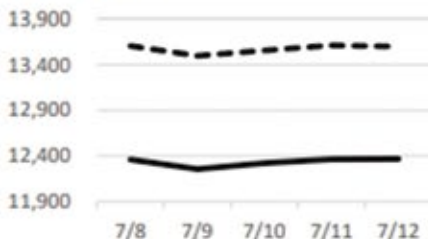


金銀山元建値週間推移

7月8日~7月12日

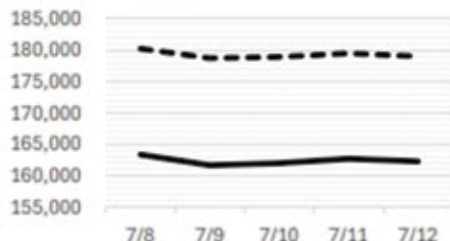
6月平均	建 値	小 売
金(¥/g)	11,833.15	13,044.30
銀(¥/kg)	152,750	168,550

金山元建値週間推移



	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12
--- 金小売	13,605	13,498	13,558	13,612	13,599
— 金建値	12,360	12,255	12,320	12,364	12,365

銀山元建値週間推移



	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12
--- 銀小売	180,290	178,750	178,970	179,520	179,080
— 銀建値	163,350	161,660	162,000	162,700	162,290